別添１

**平成29年度**

**スマートスクール・プラットフォーム実証事業**

**「スマートスクール・プラットフォーム」の**

**標準化に向けた実証**

**提案書様式**

**（様式－共通１～９）**

**（様式－総務１～３）**

**平成29年７月**

**総務省**

赤字は記載例等のため提出時には削除すること。

【事業計画書の取扱いについて】

本事業（スマートスクール・プラットフォーム実証事業）は、文部科学省「次世代学校支援モデル構築事業」（以下「文部科学省事業」という。）と同一の実証地域において、連携しながら実施することとしている。このため、提案者の作業の簡略化を目的として、事業計画書の一部の様式は、文部科学省事業との共通様式としている。

なお、本事業と文部科学省事業に共通して提出を求める様式については「（様式－共通○）」、本事業のみにおいて提出を求める様式については「（様式－総務○）」と示している。

（様式－共通１）

**実証計画について**

**（１）実証計画**

**公募要領「３．事業実施要領（１）事業内容」とその他の記載事項について十分に参照した上で、以下に示す項目毎に本事業で取り組む実証の具体的内容について記載して下さい。**

**①　学習系・校務系データの連携・活用による教育の質の向上に関する実証**

|  |
| --- |
|  |

**②　授業・学習系システムと校務系システムとの連携に必要な技術的事項の検討・実装**

|  |
| --- |
|  |

**③　スマートスクール・プラットフォームの導入・運用の効果及び課題の検証**

|  |
| --- |
|  |

**（２）事業実施スケジュール**

**①　今年度における取組**

|  |  |
| --- | --- |
| **時期** | **主な取組** |
|  |  |

**②　年次計画**

|  |  |
| --- | --- |
| **年次** | **主な取組** |
| **平成30年度** |  |
| **平成31年度** |  |

（様式－共通２）**※様式－共通１（１）①に対応**

**学習系・校務系データの連携・活用による教育の質の向上に関する実証**

**（次世代学校支援モデル構築事業　事業計画）**

**（１）学習系・校務系データの連携・活用によって期待される効果**

どのような目的、課題意識を持って実証を行うか、データ活用によってどのような課題を解決しようとするか、以下の中から選択して下さい。（複数選択可）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| A.学力向上 | B.生徒指導 | C.健康管理 | D.教員の指導力向上 |
| E.その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**（２）課題解決等に向けたデータ連携・活用方策**

（１）で選択した課題等について、どのように学習系・校務系データを連携・活用させて解決するのか、その活用方策について記載して下さい。

|  |
| --- |
| （例）* 児童生徒の各種情報の一括管理による、生活指導・生徒指導等の改善、充実
* 学習進度・状況の把握による、効果的な授業の展開
* 児童生徒の理解状況の細かな把握による、教員の指導力向上及び家庭への状況説明　　等
 |

**（３）上記の目的を実現するために活用するデータとその保有形式**

（様式－共通４）（２）「本実証において取り扱おうとするデータ」に記載して下さい。

（様式－共通３）**※様式－共通１（１）②、③に対応**

**スマートスクール・プラットフォームの導入・運用の効果及び課題の検証**

**（スマートスクール・プラットフォーム実証事業　事業計画）**

**（１）本実証に取り組む経緯・背景**

※　本実証に取り組むこととした経緯・背景について、具体的に記載して下さい。

※　関連するデータや提案主体を構成する者が定める基本方針などがあれば、併せて言及・説明して下さい。（本文において言及した基本方針等を参考資料として提出しても構いません。）

**（２）－１　期待されるコスト削減、業務効率化等の効果**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **期待効果** | **測定指標** |
| **１** |  |  |
| **２** |  |  |
| **３** |  |  |

**※　「期待効果」欄には、本実証で開発・実装するシステムを活用することにより実現を目指す成果について、具体的に記載して下さい。記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。**

**※　「測定指標」欄には、「期待効果」欄に記載した目指す成果毎に、当該成果の達成状況を測定するための定量的な指標を記載して下さい。定量的な指標が記載できない場合には、その旨と理由を記載して下さい。**

**※　なお、「期待効果」（目指す成果）については、「利用方法・実績」そのものではなく、本実証で構築するシステム（スマートスクール・プラットフォーム）の活用により実現を目指す成果・効果を具体的に記載して下さい。**

**（２）－２　期待されるコスト削減、業務効率化等の効果に係る達成目標**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **（現状値）** | **平成29年度末** | **平成30年度末** | **平成31年度末** | **（最終目標）** |
| **１** |  |  |  |  |  |
| **２** |  |  |  |  |  |
| **３** |  |  |  |  |  |

**※　（２）－１で記載した測定指標に対応する「平成29年度末」、「平成30年度末」及び「平成31年度末」のそれぞれの時点における目標値を記載して下さい。また、平成32年度末以降に本実証で行う取組についての最終目標の達成を計画している場合には、達成時期を明示した上で目標値を設定して下さい。**

**※　なお、現状値（平成28年度末時点での数値等）が分かっている場合には、「（現状値）」欄に記載して下さい。分からない場合には「未測定」である旨を明記して下さい。**

**※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。**

**（３）コスト削減、業務効率化等を更に促進するための具体的方策**

※　（２）で記載したコスト削減、業務効率化等に係る期待効果（目指す成果）の実現に関して、スマートスクール・プラットフォームの活用以外の方策であって、目標達成に資する取組を行う予定がある場合には、その内容について記載して下さい。

※　なお、記載内容に関連する提案主体を構成する自治体が定めた方針等があれば、当該方針等の名称と策定（公表）年月日についても明記して下さい。

（様式－共通４）

**本実証において開発・実装するシステム、活用するデータ等**

**（１）本実証において連携させる授業・学習系システム及び校務系システム**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **種別** | **システム名称（サービス名）** | **提供事業者** | **導入時期** |
| 校務 | ○○市学校情報システム | ■■社 | H20.4 |
| 学習① | 「ABC教育プラットフォーム」 | △△社 | H28.4 |
| 学習② | 「XYZドリル」 | □□社 | H29.12予定 |
|  |  |  |  |

**（別表）教育クラウドプラットフォーム参考仕様等の準拠状況**

|  |  |
| --- | --- |
| **システム名称（サービス名）** | 参考仕様等の準拠状況 |
| 「ABC教育プラットフォーム」 | 教育クラウドプラットフォーム等参考調達仕様に記載の全ての【必須】要件に準拠している。また【推奨】要件については・・・・を除き、全てに準拠している。 |
| 「XYZドリル」 | 教育クラウドプラットフォーム等参考調達仕様に関し、「3.4 教材コンテンツ」に係る全ての【必須】要件及び【推奨】要件に準拠している。 |

**※　「種別」欄には、各システム（サービス）について、以下のとおり記載して下さい。**

|  |
| --- |
| **授業・学習系システムに該当するもの　　⇒　　「学習」と記載。****校務系システムに該当するもの　　　　　⇒　　「校務」と記載。** |

**なお、授業・学習系システム又は校務系システムについて、同一種別の複数システムを本実証において連携させる場合には、「学習①」、「学習②」などの通し番号を付して下さい。**

**※　「提供事業者」欄には、各システム（サービス）を提供する事業者名を記載して下さい。（自治体独自のシステムを構築・運用している場合には、開発・構築を行った事業者について記載して下さい。）**

**※　「導入時期」欄には、各システム（サービス）の導入時期を記載し、今後導入予定である場合には、実証に参加する全ての学校における導入完了予定時期を記載の上、「予定」と付記して下さい。**

**※　別表「教育クラウドプラットフォーム参考仕様等の準拠状況」には、本実証において連携させる授業・学習系システム及び校務系システムについて、先導的教育システム実証事業で得られた成果を踏まえて総務省が公表している以下の各成果物への準拠状況について記載して下さい。**

**参考仕様の【必須】要件すべてを満たす必要はありませんが、あまりにも仕様とかけ離れている場合（準拠している項目が少ない場合等）は「仕様に準拠している」と見なされない場合がありますので、ご留意ください。**

**・　教育クラウドプラットフォーム参考仕様（参考技術仕様）**

**・　教育クラウドプラットフォーム参考仕様（参考調達仕様）**

**（URL）**[**http://www.soumu.go.jp/main\_sosiki/joho\_tsusin/kyouiku\_joho-ka/sendou.html**](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/sendou.html)

**※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。**

**（２）本実証において取り扱おうとするデータ**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **データ活用の****ニーズ** | **活用するデータ** | **活用するデータの****具体的内容** | **現状の保有状態** |
| **番号** | **種類** | **状態** | **システム** |
| A.学力向上 | 01 | 学籍情報 | 生徒氏名、学籍番号、クラス | ④ | 校務 |
| A.学力向上 | 02 | 成績情報 | 定期テスト素点、評定、所見 | ④ | 校務 |
| A.学力向上 | 03 | 出欠情報 | 日時、時限 | ④ | 校務 |
| A.学力向上 | 04 | 指導計画 | 週指導計画案、週指導実績 | ④ | 校務 |
| A.学力向上 | 05 | 教材データ | 使用教材、使用日時、指導教員氏名 | ⑤ | 学習① |
| A.学力向上 | 06 | ドリル学習履歴 | 素点、正誤状況、所見 | ⑤ | 学習② |
| B.生徒指導 | 07 | 指導要録 |  | ① | － |
| B.生徒指導 | 08 | 登下校記録 |  | ① | － |
| B.生徒指導 | 09 | 出欠記録 |  | ④ | 校務 |
| C.健康管理 | 10 | ・・・・・ |  |  |  |
| D.教員の指導力向上 | 11 | ・・・・・ |  |  |  |
| E.その他（　　　　） | 12 | ・・・・・ |  |  |  |

**※　「データ活用のニーズ」欄には、「（様式－共通２）（１）」において選択した、本実証を通じて解決しようとする目的・課題意識を記載して下さい。**

**※　「活用するデータ」欄には、本実証において、授業・学習系システムと校務系システムとの間でデータのやりとりを行う予定のデータの種類について記載して下さい。**

**※　「活用するデータの具体的内容」欄には、各データについて、その具体的内容を記載して下さい。**

**※　「現状の保有状態（状態）」欄には、本実証において活用するデータの保有状態について、以下の①～⑦のうち該当するものを選択して記載して下さい。**

**①　紙で保有　　　　　　　②　教員個人が電子ファイルで保有**

**③　学校が管理するコンピュータ又はサーバに保存**

**④　教育委員会等が管理するコンピュータ又はサーバに保存**

**⑤　民間事業者等が管理するサーバに保存**

**⑥　保有していない　　　　⑦　その他**

**※　「現状の保有状態（システム）」欄には、「活用するデータ」欄に記載した各データが授業・学習系システム又は校務系システムのうち、いずれにおいて専ら管理されているものかを、（１）の「種別」欄にならって記載して下さい。**

**※　実証校によって、実証の目的、課題意識、活用するデータ等が異なる場合は、実証校別に作成して下さい。**

**※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。**

**（３）機能概要**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **機能名称****（実装システム）** | **具体的内容** | **活用データ** |
| **校務** | **学習** |
| １ | 属性情報共有機能（ABC教育PF） | 「○○市学校情報システム」で管理されている以下の情報について、「ABC教育プラットフォーム」の教員管理画面でも表示できるようにする。・生徒氏名　・学籍番号　・クラス | 01 |  |
| ２ | 属性情報共有機能（XYZドリル） | 「○○市学校情報システム」で管理されている以下の情報について、「XYZドリル」の教員管理画面でも表示できるようにする。・生徒氏名　・学籍番号　・クラス | 01 |  |
| ３ | 学習状況分析機能（○○市学校情報システム） | 「○○市学校情報システム」で管理されている「定期テスト素点」及び「評定」に関するデータと、「XYZドリル」で管理されている「素点（ドリル）」に関するデータとをクロス分析し、各生徒の理解状況を可視化する。 | 0102 | 06 |
| ４ | 欠席生徒向け教材リコメンド機能（XYZドリル） | 「○○市学校情報システム」で管理されている「週指導実績」と、「出欠情報（日時・時限）」に関するデータをクロス分析した結果に基づき、「XYZドリル」上で欠席生徒ごとに補習用教材のリコメンド情報を表示する。 | 0304 |  |
| ５ | 授業・教材データベース機能（○○市学校情報システム） | 「○○市学校情報システム」で管理されている「週指導計画案」及び「週指導実績」に関するデータと、「ABC教育プラットフォーム」上に保存されている「使用教材」、「使用日時」、「指導教員氏名」とを組み合わせて、「○○市学校情報システム」上でデータベース化し、学校間で共有する。 | 04 | 05 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

**※　本実証で構築するスマートスクール・プラットフォームに実装する予定の機能について、可能な限り具体的に記載して下さい。**

**※　「機能名称（実装システム）」欄には、実装する機能を記載するとともに、そのシステム名を括弧書きで記載して下さい。同種の機能であっても、異なるシステムに機能を実装する場合には、別機能として項目を分けて記載して下さい。**

**※　「具体的内容」欄には、①どのシステムで管理されている、②どのようなデータを、③どのような分析・整理を経て、④どのシステム上で（分析結果などを）表示するかを明らかにして下さい。**

**※　「活用データ」欄には、各機能において（２）で記載したどのデータを扱うか、（２）の「番号」欄にならって、授業・学習系システム又は校務系システムの別に分けて記載して下さい。**

**※　可能であれば、表示画面サンプルなどを添付して下さい。**

**※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。**

**（４）授業・学習系システム及び校務系システムの連携に係るセキュリティ確保策**

※　本実証において授業・学習系システム及び校務系システムの連携に係るシステムを構築するに当たり、情報セキュリティの確保のために実装するシステム上の対策について記載して下さい。

※　情報セキュリティの確保のための体制についてはここには記載せず、（５）情報セキュリティ体制に記載して下さい。

※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。

**（５）情報セキュリティ体制**

※　本実証の実施に当たって構築する情報セキュリティに関する体制について記載して下さい。

※　情報セキュリティに関する組織体制、報告手順等のほか、制度整備、職員向け研修等を行う予定がある場合には、併せて記載して下さい。

※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。

**（６）個人情報・パーソナルデータの取扱い**

※　本実証で取り扱う個人情報・パーソナルデータの取扱いに関し、個人情報保護に関する法令、ポリシー等を踏まえて講じる措置、手続等について記載して下さい。

※　特に、異なる事業者の提供するシステムを横断する個人情報・パーソナルデータの取扱いに関し、提案主体内部での手続、提案主体、関係事業者、児童生徒、保護者等の間での契約、手続等を行う場合には、その内容について具体的に記載して下さい。

※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。

**（７）システム構成図**

※　本実証において構築するシステム、ネットワーク、ＩＣＴ機器の全容について図示して下さい。記載に当たっては、（３）で記載した機能に係る各データの流れ、（４）で記載したセキュリティ確保策とシステム全体との関係性が分かるよう、特に留意して下さい。

※　また、記載に当たっては、①本実証において追加的に整備するもの、②本実証とは別に自治体単費等により追加整備するもの、③本実証以前に整備された既存のものの別が分かるように色分けなどして記載して下さい。

※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。

（様式－共通５）

**実証校等の規模と校種**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **項目** | **内容** |
| **１** | 校種 | 小学校 |
| 学校名（ふりがな） | ○○市立○○小学校（○○） |
| 所在地 | ○○県○○市○○町Ｘ－Ｘ―Ｘ |
| 全校児童生徒数 | ○○人 |
| 実証対象学年の児童生徒数とクラス数 | ４学年：○人（ＸＸクラス）５学年：○人（ＸＸクラス）６学年：○人（ＸＸクラス） |
| その他 | 特筆すべき事項があれば記入すること |
| **２** | 校種 | 中学校 |
| 学校名（ふりがな） | ○○市立○○中学校（○○） |
| 所在地 | ○○県○○市○○町Ｘ－Ｘ―Ｘ |
| 全校児童生徒数 | ○○人 |
| 実証対象学年の児童生徒数とクラス数 | １学年：○人（ＸＸクラス）２学年：○人（ＸＸクラス） |
| その他 | 特筆すべき事項があれば記入すること |
| **３** | 校種 | 高等学校 |
| 学校名（ふりがな） | ○○県立○○高等学校（○○） |
| 所在地 | ○○県○○市○○町Ｘ－Ｘ―Ｘ |
| 全校児童生徒数 | ○○人 |
| 実証対象学年の児童生徒数とクラス数 | １学年：○人（ＸＸクラス）２学年：○人（ＸＸクラス） |
| その他 | 特筆すべき事項があれば記入すること |
| **４** | 校種 | 特別支援学校 |
| 学校名（ふりがな） | ○○県立○○特別支援学校（○○） |
| 所在地 | ○○県○○市○○町Ｘ－Ｘ―Ｘ |
| 全校児童生徒数 | ○○人 |
| 実証対象学年の児童生徒数とクラス数 | ○学年：○人（ＸＸクラス）○学年：○人（ＸＸクラス） |
| その他 | 特筆すべき事項があれば記入すること |

**※　実証校の校種（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校）、学校名、所在地、全校児童生徒数、学年毎の児童生徒数及びクラス数について記載して下さい。なお、記載情報については、平成29年７月１日現在のものとする。**

**※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。**

（様式－共通６）

**実証校における環境整備状況（ＩＣＴ機器）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学校名 | 項目 | 現在の配備状況等 |
| １ | ○○市立○○小学校 | 児童生徒用ＰＣ | ＰＣ機種名（ＯＳ） | ○○(○○) |
| 搭載ブラウザ | ＸＸ |
| 実証学年毎の配備状況(台数)、人数と配備率 | ４学年：○台、○人、○％５学年：○台、○人、○％６学年：○台、○人、○％特別教室（PC室）：○台 |
| 教員用ＰＣ | ＰＣ機種名（ＯＳ） | ○○(○○) |
| 搭載ブラウザ | ＸＸ |
| 実証学年毎の配備状況(台数)、人数と配備率 | ○台、○人、○％ |
| ２ | ○○市立○○中学校 | 児童生徒用ＰＣ | ＰＣ機種名（ＯＳ） | ○○(○○) |
| 搭載ブラウザ | ＸＸ |
| 実証学年毎の配備状況(台数)、人数と配備率 | １学年：○台、○人、○％２学年：○台、○人、○％３学年：○台、○人、○％特別教室（PC室）：○台 |
| 教員用ＰＣ | ＰＣ機種名称（ＯＳ） | ○○(○○) |
| 搭載ブラウザ | ＸＸ |
| 実証学年毎の配備状況(台数)、人数と配備率 | ○台、○人、○％ |

**※　平成29年７月１日現在の数値を記載して下さい。**

**※　各項目について、複数機種ある場合は、それぞれの機種ごとに台数を記載して下さい。**

**※　配備率については、以下の要領で記載して下さい。**

|  |
| --- |
| **配備台数　÷　実証の対象となる児童生徒数（又は教員数）　×　１００** |

**※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。**

（様式－共通７）

**実証校における環境整備状況（通信環境等）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学校名 | 項目 | 現在の配備状況等 |
| １ | ○○市立○○小学校 | 無線ＬＡＮ | 設置場所 | ①　職員室　②　普通教室（12教室）③　体育館 |
| ＡＰ数 | ①　４ＡＰ　②　24ＡＰ　③　２ＡＰ |
| 通信規格 | ①②　IEEE802.11ac/n/a/g/b③　IEEE802.11b |
| セキュリティ | ①②③　WPA2 |
| 利用状況 | ①　校務用端末35台②　学習用端末（最大同時接続数）40台／教室（最大利用帯域）1.7Mbps※／台　※「ABC学習チャンネル視聴」時③　学習用端末（最大同時接続40台） |
| 外部接続 | ①　○○ネット（地域イントラ）経由　帯域保証型ＷＡＮ：10Gbps　（接続学校数：○校）　（１校当たり：100Mbps）　インターネット接続：1Gbps②③　インターネット直接接続　300Mbps（ベストエフォート） |
| 有線ＬＡＮ | 設置場所 | ＰＣ教室 |
| 利用状況 | 学習用端末40台（最大利用帯域）1.7Mbps※／台　※「ABC学習チャンネル視聴」時 |
| 外部接続 | ○○ネット（地域イントラ）経由　帯域保証型ＷＡＮ：10Gbps　（接続学校数：○校）　（１校当たり：100Mbps）　インターネット接続：1Gbps |
| セルラー回線 | 提供事業者 | ○○社 |
| 契約内容 | ７ＧＢ／月 |
| 契約数（内訳） | XX契約（児童XX契約、教員XX契約） |
| ２ | ○○市立○○中学校 | 無線ＬＡＮ |  |  |
| 有線ＬＡＮ |  |  |
| セルラー回線 |  |  |

**※　平成29年７月１日現在の数値を記載して下さい。**

**※　自治体ネットワーク構成図を合わせて必ず提出して下さい。その他参考資料がある場合には別葉で提出して下さい。（様式適宜）**

**※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。**

（様式－共通８）

**実証終了後の成果の普及及びシステム、機器、体制等の活用に関する計画**

※　本実証研究で得られた成果の普及方策について記載して下さい。

※　また、本実証のために整備したスマートスクール・プラットフォームを始めとするシステムの活用やＩＣＴ機器、ネットワーク等の利用、人材の育成・活用などについて、平成32年度以降、どのように取組を継続していくのか、資金計画（維持管理費用の負担等）や人的・制度的体制を含め、具体的かつ詳細に記載して下さい。

（様式－共通９）

**実証地域におけるこれまでの教育の情報化に関する取組状況**

※　実証地域及び実証校のICT機器の利活用や校務の情報化に関する取組など、教育の情報化に関する取組を記載して下さい。

※　記述欄が不足する場合は、適宜追加して下さい。

（様式－総務１）

**スマートスクール・プラットフォームに関する標準化の提案**

※　本実証において構築するスマートスクール・プラットフォームにおいて採用する技術要素、運用手法等のうち、スマートスクール・プラットフォームの普及促進のために標準化すべき（横展開させるべき）と考えるものについて記載して下さい。記載に当たっては、必ず以下の項目を盛りこむこととして下さい。

1. 標準化すべき（横展開させるべき）技術要素等
2. 当該技術要素（標準）の普及促進により期待される効果（標準化すべき理由）
3. 関連する標準化（国際規格、JIS等）の現状
4. これまでの検討状況
5. 競合する技術・手法と比較した優位性　※該当するものがある場合

※　各技術要素のシステム全体での位置付けが分かるように、必要に応じシステム構成図などを活用して説明して下さい。

※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。

（様式－総務２）

**事業実施体制（連携体制・地域連絡会構成員）**

|  |
| --- |
| Ⅰ　学校設置者 |
|  | 法人番号 | *※複数者存在する場合に限り、以下のとおり「①、②、・・・」と通し番号を振った上で、記載して下さい（以下同じ。）*（一者のみ存在する場合）Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ（複数存在する場合）①　Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ②　Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ |
| 学校設置者 | （一者のみ存在する場合）△△市（複数存在する場合）①　△△市②　■■町 |
| 代表者氏名 | （一者のみ存在する場合）△△市長　△△　△△（複数存在する場合）①　△△市長　△△　△△②　■■町長　■■　■■ |
| 担当者連絡先 | （一者のみ存在する場合）△△市△△部△△課△△係長　△△　△△住所：△△市△△町△△電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\*（複数存在する場合）①　△△市△△部△△課△△係長　△△　△△住所：△△市△△町△△電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\*②　■■町■■部■■課■■係長　■■　■■住所：■■市■■町■■電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\* |
| Ⅱ　授業・学習系システムを提供する事業者 |
|  | 法人番号 | *※複数者存在する場合に限り、以下のとおり「①、②、・・・」と通し番号を振った上で、記載して下さい（以下同じ。）*（一者のみ存在する場合）Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ（複数存在する場合）①　Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ②　Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ |
| 提供事業者（授業・学習系） | （一者のみ存在する場合）▲▲株式会社（複数存在する場合）①　▲▲株式会社②　□□株式会社 |
| 代表者氏名 | （一者のみ存在する場合）▲▲株式会社　代表取締役社長　▲▲　▲▲（複数存在する場合）①　▲▲株式会社　代表取締役社長　▲▲　▲▲②　□□株式会社　代表取締役社長　□□　□□ |
| 担当者連絡先 | （一者のみ存在する場合）▲▲株式会社　▲▲部▲▲課　課長住所：▲▲市▲▲町▲▲電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\*（複数存在する場合）①　▲▲株式会社　▲▲部▲▲課　課長住所：▲▲市▲▲町▲▲電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\*②　□□株式会社　□□部□□課　課長住所：□□市□□町□□電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\* |
| これまでの実績 | ※教育の情報化に関するこれまでの取組（国・自治体の取組への参画、企業独自の取組等）があれば記述して下さい。 |
| Ⅲ　校務系システムを提供する事業者 |
|  | 法人番号 | *※複数者存在する場合に限り、以下のとおり「①、②、・・・」と通し番号を振った上で、記載して下さい（以下同じ。）*（一者のみ存在する場合）Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ（複数存在する場合）①　Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ②　Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ |
| 提供事業者（校務系） | （一者のみ存在する場合）▲▲株式会社（複数存在する場合）①　▲▲株式会社②　□□株式会社 |
| 代表者氏名 | （一者のみ存在する場合）▲▲株式会社　代表取締役社長　▲▲　▲▲（複数存在する場合）①　▲▲株式会社　代表取締役社長　▲▲　▲▲②　□□株式会社　代表取締役社長　□□　□□ |
| 担当者連絡先 | （一者のみ存在する場合）▲▲株式会社　▲▲部▲▲課　課長住所：▲▲市▲▲町▲▲電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\*（複数存在する場合）①　▲▲株式会社　▲▲部▲▲課　課長住所：▲▲市▲▲町▲▲電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\*②　□□株式会社　□□部□□課　課長住所：□□市□□町□□電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\* |
| これまでの実績等 | ※教育の情報化に関するこれまでの取組（国・自治体の取組への参画、企業独自の取組等）があれば記述して下さい。 |
| Ⅳ　授業・学習系システムと校務系システムの連携のためのシステムを提供する事業者 |
|  | 法人番号 | *※複数者存在する場合に限り、以下のとおり「①、②、・・・」と通し番号を振った上で、記載して下さい（以下同じ。）*（一者のみ存在する場合）Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ（複数存在する場合）①　Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ②　Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ |
| 提供事業者 | （一者のみ存在する場合）▲▲株式会社（複数存在する場合）①　▲▲株式会社②　□□株式会社 |
| 代表者氏名 | （一者のみ存在する場合）▲▲株式会社　代表取締役社長　▲▲　▲▲（複数存在する場合）①　▲▲株式会社　代表取締役社長　▲▲　▲▲②　□□株式会社　代表取締役社長　□□　□□ |
| 担当者連絡先 | （一者のみ存在する場合）▲▲株式会社　▲▲部▲▲課　課長住所：▲▲市▲▲町▲▲電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\*（複数存在する場合）①　▲▲株式会社　▲▲部▲▲課　課長住所：▲▲市▲▲町▲▲電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\*②　□□株式会社　□□部□□課　課長住所：□□市□□町□□電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\* |
| これまでの実績等 | ※教育の情報化に関するこれまでの取組（国・自治体の取組への参画、企業独自の取組等）があれば記述して下さい。 |
| Ⅴ　プロジェクトマネージャー |
|  | 法人番号 | *※複数者存在する場合に限り、以下のとおり「①、②、・・・」と通し番号を振った上で、記載して下さい（以下同じ。）*（一者のみ存在する場合）Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ（複数存在する場合）①　Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ②　Ｘ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ |
| 事業者・団体 | （一者のみ存在する場合）▲▲株式会社（複数存在する場合）①　▲▲株式会社②　□□株式会社 |
| 代表者氏名 | （一者のみ存在する場合）▲▲株式会社　代表取締役社長　▲▲　▲▲（複数存在する場合）①　▲▲株式会社　代表取締役社長　▲▲　▲▲②　□□株式会社　代表取締役社長　□□　□□ |
| 担当者連絡先 | （一者のみ存在する場合）▲▲株式会社　▲▲部▲▲課　課長住所：▲▲市▲▲町▲▲電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\*（複数存在する場合）①　▲▲株式会社　▲▲部▲▲課　課長住所：▲▲市▲▲町▲▲電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\*②　□□株式会社　□□部□□課　課長住所：□□市□□町□□電話番号：00-1234-5678E-mail：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*.\*\* |
| これまでの実績等 | ※教育の情報化に関するこれまでの取組（国・自治体の取組への参画、企業独自の取組等）があれば記述して下さい。 |

**Ⅰ～Ⅴに掲げる者以外であって地域連絡会に参画する者**

|  |  |
| --- | --- |
| **氏名／法人名** | **実績、役職等** |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**※　提案主体を構成する者（Ⅱ～Ⅳに記載する者に限る。）について、提案書提出時点で未確定の場合には、該当記入欄に「未定」と記入の上、その理由（例：入札公告中であるため）と確定予定時期（及び関連スケジュール）を別紙（様式適宜）に記載し、本様式に添付して提出して下さい。**

**※　表「Ⅰ～Ⅴに掲げる者以外であって地域連絡会に参画する者」には、Ⅰ～Ⅴに掲げる者以外であって、本実証の円滑かつ効果的な実施について検討するために設置する「地域連絡会」に参画する予定である地域の教育関係者、有識者、関係事業者等について記載して下さい。**

**※　記述欄が不足する場合は適宜追加して下さい。**

（様式－総務３）

**実証地域要件への該当状況等に係る確認**

提案公募要領を十分に参照の上、以下の各項目について該当しているか否か確認し、該当している場合には「○」をそれぞれの【確認欄】に記入して下さい。

　（１）提案主体・連携体制

|  |  |
| --- | --- |
|  | **確認欄** |
| a | 提案主体及び連携体制を構成すべき全ての者を確保している又は確保できる確実な見込みがある。 |  |
| b | 上記の全ての者について事業実施期間（最長３年間）を通じて実証に参画することを確保する。 |  |
| c | 連携体制を構成すべき者のうちプロジェクトマネージャーは、実証地域のＩＣＴ環境に精通し、実証の実施に必要な関係者間の調整を遂行することができる。 |  |

　（２）実証環境

|  |  |
| --- | --- |
|  | **確認欄** |
| a | 実証に参加する全ての学校等において、授業・学習系システム及び校務系システムの両方について導入済みである又は実証実施までに導入する確実な見込みがあること。 |  |
| b | 実証に用いる授業・学習系システム及び校務系システムは、それぞれ異なる事業者が提供するものである又はその予定である。 |  |
| c | 実証に用いる授業・学習系システム及び校務系システムは、提案公募要領２（２）①注釈の内容に合致したものである。 |  |
| d | 実証に用いる各種システム、通信環境（外部接続環境、校内ＬＡＮ環境等）、情報端末等について、事業実施期間を通じた円滑な提供・運用及び活発な利活用が見込まれる。 |  |
| e | 実証に用いる授業・学習系システム、校務系システム及び両システム間の連携のためのシステムについて、本実証の対象となる児童生徒、教員等に対し、１人当たり１つの専用ＩＤが割り振られている又はその予定である。 |  |

（３）実証事業内容

|  |  |
| --- | --- |
|  | **確認欄** |
| a | 「授業・学習系システムと校務系システムとの連携に必要な技術的事項の検討・実装」について、全ての必須項目についての実証を行う。 |  |
| b | 「スマートスクール・プラットフォームの導入・運用の効果及び課題の検証」について、全ての必須項目についての実証を行う。 |  |

（４）実証実施体制

|  |  |
| --- | --- |
|  | **確認欄** |
| a | 総務省及び総務省が指定する請負事業者の指示に従い連絡体制を構築する。 |  |
| b | 個人情報の取扱いに関し、関係する法令、ポリシー等を適切に踏まえ、必要な手続、体制整備等を行った上で、事業計画に従って確実に実証に取り組む。 |  |
| c | 関係者が連携して十分なセキュリティ対策を講じる。 |  |
| d | 連携体制に参加する全ての者を含む地域の教育関係者、有識者、関係事業者等により構成される地域連絡会を設置する。 |  |
| e | 総務省及び総務省が指定する請負事業者の判断に従い、実証に必要なＩＣＴ環境整備を行う。また、実証に必要なＩＣＴ環境を整備する費用が上限額（１地域当たり2000万円（税込））を上回る場合には、提案主体の責任においてＩＣＴ環境整備を行う。 |  |

（５）成果取りまとめに対する協力等

|  |  |
| --- | --- |
|  | **確認欄** |
| a | 文部科学省「次世代学校支援モデル構築事業」に係る提案公募への応募を行う。 |  |
| b | 文部科学省「次世代学校支援モデル構築事業」に係る所管課の求めに応じて、情報提供、意見交換等の協力を行う。 |  |
| c | 総務省又は総務省の指定する請負事業者の求めに応じて、他の実証地域も含めた授業・学習系システムと校務系システムとの連携に係る標準仕様の策定等、事業全体の統一的実施のために必要な協力を行う。 |  |
| d | 提案主体及び連携体制を構成すべき全ての者として、標準仕様の策定やその後の普及等についての検討等を行う協議会に参画する。 |  |
| e | 総務省及び総務省が指定する請負事業者の指示に従って、各事業年度における実施状況について成果報告書を作成し、指定された期日までに提出する。 |  |
| f | 総務省が主催する教育の情報化に関連する成果報告会等に参加の上、実証成果の発表等を行う。 |  |
| g | 本実証のために整備したＩＣＴ環境、体制等については、実証終了後においても継続的かつ有効に活用する。 |  |